

～市立動物園～



「出張ふれあい教室」を
行っています



▲「出張ふれあい教室」の様子

岡市立動物園…☎055(233)3875

動物園では、昨年10月の休園後から市内の幼稚園・保育園・こども園の年長児を対象に「出張ふれあい教室」を行っています。園児たちにはモルモットの生態についてクイズや観察を通じて理解を深めてもらい、その後、モルモットへキャベツを渡したりしながら優しく触れてもらっています。初めて動物と接するという園児も多く、恐る恐るキャベツを差し出すこともあります。ふれあい教室が終わるころにはすっかり慣れてそれぞれの特徴について語り合うなど、モルモット博士になっています。「出張ふれあい教室」を通じて、これからの子どもたちに、ともに生きる動物たちの“命の大切さ”を伝えていきたいと思ひます。



遊亀公園でさまざまなプログラム開催中!
～トライアルサウンディング～

岡公園緑地課…☎055(223)6101

遊亀公園の使い勝手や魅力を調査するため、事業者さまが実施するプログラムが開催されています。ぜひお越しください!



プログラム内容や日程など最新情報はこちら▶

* 10月の予定 *

- ・青空サロン
- ・Parque de ZUMBA
- ・NAKED MARKET YAMANASHI
- ・多世代・多地域ごちゃまぜ健康まつり



リニューアル工事のため、動物園は休園しています(令和9年3月末まで)



休園中の動物たちの様子や最新の情報は
こちらから▶

ホームページ



Facebook



X(旧 Twitter)



Instagram



YouTube



とびだせ!市民レポーター!

子ども・青少年総合相談センター「あおぞら」

令和5年4月、妊娠から青年期までの悩みに切れ目なく対応するために『子ども・青少年総合相談センター「おひさま・あおぞら」』が設置されました。どんなところがわかると安心して利用できると思ひ、「あおぞら」の相談員さんにお話を伺いました。



▲子ども相談センターと青少年相談室が統合されてきた「おひさま・あおぞら」。窓口は市役所本庁舎3階

「あおぞら」ってどんなところ?

「あおぞら」は、主に小学生から、おおむね30歳未満の方を対象に、不登校や学校生活の悩み、また、社会問題にもなっているヤングケアラーなどの相談を受け、本人とその家族のフォローアップを行っています。児童生徒の相談が一番多く、相談には社会福祉士、教員OBの計3名が対応しているそうです。

元々あった子ども相談センター「おひさま」と青少年相談室が統合し、今年度から総合相談センターとなったことで、おひさまとあおぞら、また学校や保育所、子育て世代包括支援センターなど、さまざまな関係機関と連携して、一人一人の相談に丁寧に対応しているそうです。



▲本庁舎3階にある相談室でも相談できます

相談員さんが大切にしていること

主にヤングケアラー相談を担当している、相談員の五味さん。「一人一人の事情や状況が異なるため、個別に対応しています。心掛けているのは、大人の価値観で決めず、その子の気持ちを大切に、一つずつ確認しながら支援を決めていくこと。相談を受けることで公的サービスにつなげたり、家族にアプローチをしたりして日々の負担を減らし、長期的に状況改善を図ることを目指しています。相談内容については守秘義務があるので、安心して気軽に相談してほしいです」と話してくれました。



▲優しく落ち着いた雰囲気
の五味さん(相談員)

相談方法はなにがある?

直接窓口に行けなくても、電話やメールで相談できます。本人以外の親族や地域の方からの相談も多いそうです。子どもが自分でつらさを語れない状況もありますが、子どもでも電話しやすいよう専用フリーダイヤルがあるので、ぜひ知ってほしいそうです。



▲『甲府市子育てガイドブック』(P.9)に詳細が掲載されています

☎電話相談はこちらから
0120-743-011 (フリーダイヤル)
055-221-3011 (直通)

▶本誌5ページでも、ヤングケアラーと「あおぞら」について掲載しています。併せてご覧ください

市民レポータープログラム
もご覧ください▶

【市ホームページ】

市民レポータープログラム

検索



今月の担当レポーター 武居 みお

取材中も相談員さんに温かく穏やかに話をさせていただいたので、相談する側は安心して話ができると思ひました。子どもや家族が困ったときに、気軽に相談できる場所があることは心の支えになると思ひます。一人で悩みを抱え込む子どもが減るように、「あおぞら」の存在を多くの方に知ってもらえたらと思ひます。

